

柳町まちづくりの会だより

第二回

道路拡幅の将来を考える

五月十二日(水)八時、新浪漫亭にて第三回柳町まちづくりの会として、専門家の講演会が開催されました。参加者からは「自分たちの将来」に対して前向きで情熱のある意見が多く聞かれました。

【これまでの経緯】平成十五年、道路拡幅計画が事業決定したのを機に、町会・商店会役員の中では、このまま道路拡幅が進んでしまうと、ただ車だけが通過するだけの町並みになってしまうという懸念が大多数の役員から出ました。柳町商店街としては今の内に何か手を打たなければと、平成十五年七月頃から中小企業診断士の野村先生を通して、商店街活性化の為の勉強会を行って来ましたが、もっと町づくりそのもの勉強会をやるという話が決まり、新宿区に都市計画部まちづくり課があることを知りました。住民だけで進めていこうとしても、悲しいかな素人の限界があります。そこで今後は区のまちづくり課のお知恵とご協力を受け、「まちづくりの会」として進めていく事になりました。平成十六年三月二十日、第一回勉強会開催され、まちづくり課の課長新井さん・主査大竹さんより、今後の会の準備のアドバイスを受けました。内容は、行政側から住民に対し何かをしてあげるといことは出来ない、住民側が、どのような町づくりをしたいか提案を出し、行政側と折衝する形となります。その提案には多くの住民の同意が必要なので、しっかりと組織を作り、提案内容をまとめ、進めていく方法がベストであるとのアドバイスがありました。同年四月二十二日第二回勉強会開催。会の名称は「柳町まちづくりの会」。会長は橋本公雄、副会長は川上浩に決定しました。又、町づくり為の専門家の公演・現地見学会等の年次計画の立案を検討することが決定しました。会の規約に関しては第三回のまちづくりの会合で住民の意見を取り入れながら決定します。

まちづくりとは

(講演者 まちづくり課 大竹氏)

「まちづくり」と云っても色々有りますが、今、我々が担当していますのが、再開発事業といって数百億・一十億円規模のビルを建てて町を造っていくハード的な一面と、町並みを残しながら皆さんと考えていくソフト的な一面があります。皆さんが道路拡幅によって、どんな町にしたいのか、この町に住んでいる皆さんで話し合い、合意することが必要と考えております。まず認識してほしいのは、まちづくりは一部の特定の人達だけでは出来ないということです。どのようにすれば皆さんに有益なまちづくりが出来るか？お金のことはかりではなく、様々な環境、まち並み(景観)が良くなるのかを考えながら、住民の皆さんの意見を吸い上げて皆さんの合意を得られることで、まちづくりというものが出来るのです。例えば再開発によって容積率を意図的に上げることが出来ます。容積率を上げてできた増床部分の売却益で全部の工費をまかなえるので、そこに住んでいらっやって土地を提供した地権者の方たちは、工事費用を負担しないで入居できる仕組みになっております。まだ

新選組ウォーク大成功

市谷柳町二五番地の新選組局長近藤勇の道場跡に歴史標柱が出来た事を記念に、新選組ウォークが去る五月一六日(日)に開催されました。柳町から加賀町、二十騎町、市谷龜岡八幡。ここで天然理心流稽古を見て新宿区歴史博物館でお勉強楽しい一日でした。写真は試衛館跡です。

(写真・参加者と同好会市谷柳町試衛館メンバー)



まだいるんなまちづくりがありますので、これから皆さんと協議しながら、どのような方法が良いのかを選択していきたいと考えております。東京都がこの町の道路を拡幅するので、東京都がやってくれる物については、皆さんの要望を十分に伝えて皆さんの望むものを造ってもらいましょう。その事を含めて勉強していただき、統一された意見で進めていただきたいのです。地域の皆さんの中には道路拡幅に際して役所の税金を使って建物建ててもらおうイメージがあるのですが、今の時代、一つの町に税金を投入することはありえませんが、どのような方法で費用を捻出するかは専門家を交えてやっていかなければいけないので、三年から四年ぐらいかけて勉強し、最終的には、どのような選択をするかが必要なのです。」

まちづくりの仕組みについて

(講演者 まちづくり課 佐々木氏)

『まちづくりは都市計画図から』と言われております。区役所で手に入れる事が出来る都市計画図なるものは、再開発事業や道路拡幅事業などの決定した地区計画が載っているのです。地区計画は住民からの提案で作る事ができます。まず素案を作成いたしますが個人では出来ません。法律で決まっていますNPOとか法人格であるとか、まちづくりの会のような組織でないと素案が出来ないのです。素案が出来たら区の方は条文などと比較し、これで良いのかどうかをチェックし、図面を起こし、地区計画のハードを作ります。そして公聴会で住民の方々に『こういう町のルールを新しく作りましたよ。このような案でいかがでしょうか?』というような説明をして、ご意見を伺います。当然、住民の方々からは賛否両論の意見が出るでしょうから区の方で本当にこの事業がふさわしいのかどうかを検討することになります。次に議員や学識経験者で構成される都市審議会という会議で検討し、始めて地区計画が出来ます。ここまで来るのに早くて一年ほどかかります。皆さんの意見が割れた場合、三分の二の賛成があれば良い事になっていきますが、三分の二を超えたら良いものではなく、区の方としては東京都に案を出すのには、百パーセントにより近い方が案として良いもだと理解しています(新宿区では東京都と地区計画区域が一緒)。内藤町で地区計画をおこなっています。皆さんの賛成が100パーセント近く上がっています。自分の子供のためとか若い人は町将来のためここで頑張っていこうという認識を持ってやってもらった方が良いかと思っています。」

三回目の会合に参加された方々(新宿区まちづくり課)大竹・佐々木の両氏・中小企業診断士野村氏・区会議員小松氏(住民)橋本・川上・久保・部・八木・松下・田畑・林ノ山東・渋谷・川上(息子)・林(息子)・中居・笹川・林尊広・三原和代

【第三回の日程】六月二日(水)新浪漫亭二階会議室・夜七時より。住民の皆様積極的な参加をお待ちしています。

「ご意見・ご質問などがございましたら町づくりの会事務局川上(三三四一・三七九七)・八木(三三四一・九八八七)まで連絡して下さい。」

イベント情報

七月四日(日)に七夕まつりを開催。柳町の交差点から仲之町の交差点までの450mを歩行者天国にしてサンパチムのパレードや新選組隊士のパレードや殺陣、東京シティーの通りではフリマや露天など楽しいこといっぱいイベントです。ぜひ、大勢の方と遊びに来てください。

